

社会科 2年

織田信長と豊臣秀吉による統一事業 (クラウドの利用と質問機能の利用による意見共有の活性化)

名前 小野 智博

【活動の目標】

織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について、調査活動やグループでの話し合い活動・発表をICTを効果的に活用することを通して、近世社会の基礎がつけられたことを理解することができる。

【 問 い 】

- ・戦乱の世を終わらせたのは、信長と秀吉のどちらの政策だろうか。(問いの工夫Ⅰ)
- ・調べたことをグループで共有し、課題について話し合い、発表する。(問いの工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>A1 : 教員による教材の提示</p> <p>生徒が調査した学習内容の定着を図るため、パワーポイント資料を大型テレビに映し、説明する。</p>	<p>黒板に教員が板書する。</p>
<p>C1 発表・話し合い</p> <p>話し合った結果をホワイトボードにまとめさせた後、その写真を撮影しクラウドにアップロードさせる。発表時に、大型テレビに映し出す。</p>	<p>ホワイトボードを黒板に掲示する。</p>
<p>C1 発表・話し合い</p> <p>学習のまとめとして、クラスルームの質問機能で、自分の課題に対する考えを入力・送信させ、発表させる。</p>	<p>自分のノート記述させたのち、数人の意見を発表させる。</p>

【資料】 クラスルームでのコメント

- 5月2日
信長：天下統一の基盤を作ったと思うから。
- 5月2日
信長も秀吉も戦乱の世を終わらせることに貢献したが自分的には信長の革新的な政策などが大きく貢献したのだと思った。
- 5月2日
楽市楽座など経済的な政策、室町幕府倒幕や他の強力な大名たちを破ったことから秀吉が信長の後継者として朝廷で権力を持ち、結果的に全国平定が行われることになったから。

【ICT 機器を活用する良さ】

- クラウドにアップロードすることでデータとして保存でき、後で見直すことができる。
- クラス全員に意見を送信させることで、挙手による一部の意見に偏らない。

【改善すべき点と原因および改善案】

- chromebook とノートとの併用について。学習履歴としての chromebook の活用。